



発行者 京都市立大宅小学校 校長 西山 正晃
〒607-8178 京都市山科区大宅五反畑町69の2
TEL(075)591-0016 URL:<https://www.edu.city.yoto.jp/he/oyake-s/>
FAX(075)591-0096 E-mail:oyake-s@edu.city.yoto.jp

～学校評価上半期の報告～

教職員自己評価

A・・・よくできている B・・・おおむねできている
C・・・あまりできていない D・・・できていない

人権	「笑顔であいさつする子」	A	B	C	D (%)
	笑顔であいさつする取組はできていますか？	44%	56%	0%	0%
	子どもが友達の良いところや、がんばりを認めようとする態度を育てていますか？	52%	48%	0%	0%
	子どものよいところを見つけて、ほめていますか？	56%	44%	0%	0%

健康	「体をきたえる子」				
	体育の授業で、子どもの運動量の確保ができていますか？	50%	50%	0%	0%
	休み時間に外で遊ぶように働きかけていますか？	58%	38%	4%	0%
	生活向上を目指した健康目標の取組はできていますか？	73%	23%	4%	0%
	食生活の向上を目指した取組はできていますか？	50%	50%	0%	0%

生徒指導	「約束を守る子」				
	子どもが楽しくすごせる学級作りができていますか？	52%	48%	0%	0%
	チャイムと共に授業を始めていますか？	68%	32%	0%	0%
	やわらかい言葉づかいができるように、子どもたちの会話に気を付け、言い直しをさせていますか？	60%	40%	0%	0%

研究	「よく考える子」				
	子どもが活躍する授業をしていますか？	33%	63%	4%	0%
	屋読書や図書室を活用し、本好きの子どもを育てていますか？	48%	52%	0%	0%
	家庭学習が継続的にできるように、適切な課題(計算・漢字・音読など)を与えていますか？	58%	42%	0%	0%

～学校評価の考察～

- 「すすんであいさつ」の項目では、A評価をした児童が約10%も増えた。PTA・児童会・教職員による毎朝の校門でのあいさつ運動や、地域の声かけ、毎日の見守り活動が根付いてきた証拠だと考えられる。
- 時間を守るという意識づけのための「シグがなったら教室にもどって席につく」の項目では、できていると答えた児童が約95%もいた。教師側の自己評価についても「チャイムと共に授業を始めている」の項目が100%であることから、学校全体で時間を守ろうという意識が高まっていると感じる。また授業時間もきちんと確保され、学力の向上にもつながっていくと考えられる。
- 「学級(学校)は楽しい」の項目では、児童・保護者とも90%以上の高評価であった。教職員評価の結果からも、担任がそれぞれの子どもの実態をよく把握し、創意・工夫しながら学級作りができていることがうかがえた。
- ここ数年の課題であった「やわらかな言葉づかい」の項目では、できていると答えた児童は昨年度より5%以上も増えた。道徳の授業はもちろん、普段から、さん・くんづけや丁寧な言葉で言い直しをするなどを徹底してきたこと、懇談会やお便りなどで人を大事に思うことの大切さを保護者の方々にご理解いただいたことなどがよい結果につながったと考えられる。
- 「授業がよくわかる」の項目では、わかると答えた児童が80%以上いた。これは、昨年度の同時期と比べても約5%増えている。算数科を中心に、授業の進め方を学校全体で共通理解していることで、一年ごとのクラス替えによって担任が変わっても子どもたちに「わかる授業」を提供できているのだと考えられる。
- 「本を読むのが好き」の項目では、好きだと答えた児童が80%を超えた。教職員評価でも、100%の教職員が本好きの子を育てようとしているように、授業で図書室を利用する機会を増やしたり、担任はもちろんその他の教職員も読み聞かせをし、読み聞かせの回数を増やしたりして、児童ができるだけたくさん本の手に触れるようにしている。本に触れる機会が増えたことで、児童の読書への興味も高まっているのだと考えられる。
- 一日の生活リズムを作るための「早寝・早起き・朝ごはん」に関しては、特に「早寝・朝ごはん」の項目で、前年度と比べても課題が改善されていない。早寝については、3年生以上の学年で軒並み55%ほどの児童しか達成できていない。また、朝ごはんの摂取については、年々しっかり食べられていない児童が増えてきている。子どもにとって睡眠時間(寝る時刻も含めて)と朝ごはん摂取は、ホルモンの分泌やエネルギー消費の仕組みから、体の成長や体力・学力の伸長に影響することを、保健の学習や保健室での指導、保健だよりの活用を通して保護者の方だけでなく、児童自身がしっかりと学べるようにしていきたい。
- 家庭学習の項目では、約15%の児童がきちんとできていないという結果であった。前年度からの課題は改善されていない。学年別にみると、1・2年生が約10%未満、3・4年生が約15%、5・6年生は約20%以上の児童がきちんとできていない。学年が上がるにつれ、学習の難易度も上がり、学習時間も増えることが要因であると考えられる。家庭と学校がしっかりと連携し、家庭での見守りと学校での徹底を強化していきたい。

～学校運営協議会・学校評議員会より～

・
・
・
・
・

保護者による外部評価

A・・・そう思う B・・・だいたいそう思う
C・・・あまりそう思わない D・・・そう思わない

すすんであいさつをする	A	22%
	B	45%
	C	29%
	D	4%
学校での様子を話す	A	33%
	B	49%
	C	16%
	D	2%
お子さんのよいところを見つけ、ほめている	A	23%
	B	60%
	C	17%
	D	0%
休まず学校に行っている	A	82%
	B	16%
	C	1%
	D	1%
早く寝ている ※21時(低学年)21時半(中学年)22時(高学年)	A	33%
	B	30%
	C	25%
	D	12%
早く起きている ※朝7時までには起きる	A	47%
	B	31%
	C	15%
	D	7%
毎日、朝ごはんを食べている	A	83%
	B	12%
	C	4%
	D	1%
楽しんで学校に行っている	A	59%
	B	34%
	C	5%
	D	2%
集団登校に遅れずに行っている	A	72%
	B	20%
	C	4%
	D	4%
やわらかな言葉使いができている	A	23%
	B	49%
	C	24%
	D	4%
自分から進んで家庭学習をする	A	28%
	B	37%
	C	26%
	D	9%
本を読むのが好きだ	A	28%
	B	27%
	C	31%
	D	14%
家庭学習(宿題を含む)をしている ＜15分×学年＞	A	48%
	B	33%
	C	14%
	D	5%

児童自己評価

A・・・そう思う B・・・だいたいそう思う
C・・・あまりそう思わない D・・・そう思わない

すすんであいさつできている	A	52%
	B	34%
	C	10%
	D	4%
学校でほめられている	A	23%
	B	37%
	C	30%
	D	10%
家でほめられている	A	38%
	B	33%
	C	20%
	D	9%
外で元気に遊んでいる	A	60%
	B	21%
	C	13%
	D	6%
早く寝ている ※21時(低学年)21時半(中学年)22時(高学年)	A	36%
	B	24%
	C	20%
	D	20%
早く起きている ※朝7時までには起きる	A	62%
	B	21%
	C	11%
	D	6%
毎日、朝ごはんをたべている	A	87%
	B	8%
	C	3%
	D	2%
学級は楽しい	A	67%
	B	23%
	C	7%
	D	3%
シグがなったら教室にもどって席についている	A	65%
	B	29%
	C	5%
	D	1%
やわらかな言葉づかいができている	A	35%
	B	41%
	C	17%
	D	7%
授業がよくわかる	A	48%
	B	37%
	C	10%
	D	5%
本を読むのが好きだ	A	64%
	B	17%
	C	13%
	D	6%
家庭学習(宿題)をしている ＜15分×学年＞	A	64%
	B	21%
	C	11%
	D	4%

